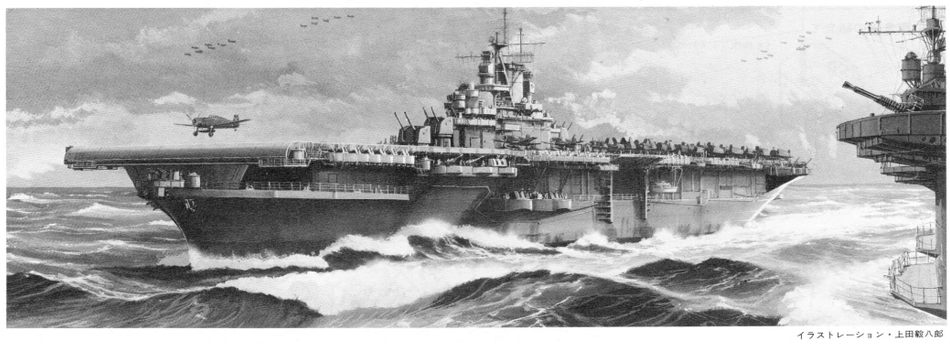
KIT NO. WL. A108

ESSEX

ウォーターラインシリーズ No.102

アメリカ海軍 航空母艦エセックス

U.S.AIRCRAFT CARRIER



イラストレーション・上田毅八郎

WATER LINE SERIES

《アメリカ海軍航空母艦 CV－9エセックス》

1941年12月7日（日本では8日）日本海軍による真珠湾奇襲によって太平洋戦争の幕が切って落とされたとき、米海軍には大型空母レキシントン、およびサラトガ以下"セブン・シスターズ"と呼ばれた計7隻の空母があった。この7姉妹に続く正規空母としては、当時すでに11隻が船台上にあるか、発注ずみであった。

これらの空母こそ、1940年6月の「11パーセント海軍拡大法」および同年7月の「両洋艦隊法」によって計画、発注されたもので、後日24隻の大勢力となり傑作艦として世界に長く名声を轟かせたエセックス級空母の第1陣であった。

エセックス級は条約型空母たるヨークタウン（CV－5）級の拡大改良型ともいえる空母で、その設計は全く一新されているとはいえ、幾多の点で前級の基本を受け継いでいる。すなわち、比較的大型の煙突と艦橋を一体化したアイランドを右舷におき、船体上甲板を強度甲板兼格納庫甲板として、格納庫はオープン・ハンガー方式としている。また飛行甲板は極力長く、かつ巾を広くしてあり（日本海軍の超大型空母信濃とほぼ同じ面積を持つ）、その全周に渡って回廊を設けて、対空火器を配してある。

エレベータはヨークタウン級と同じ3基であるが、1基は左舷中央舷側に設けられ、サイド・エレベータ方式をとっており、これはオープン・ハンガー方式と共に後日ダメージ・コントロールに強力な威力を発揮することになった。

さらに注目すべきは防禦関係の大巾な強化で、船体には米海軍お得意の多層式水中防禦方式を採用し、一部には三重底を設けている。垂直防禦には、飛行甲板に1.5インチ厚、格納庫甲板に3インチ厚、機関室上部の甲板（第4甲板に相当）に1.5下、格納庫との間にギャラリー・デッキを設けているため、実質的には4段構えの防禦といえる。

このため、日本の神風特別攻撃を主とする航空攻撃は、本級の格納庫甲板すらついに打ち抜くことができず、船体上部には相当の被害を与えながらも、強力なダメージ・コントロールの助言もあって1隻も沈没させることができなかった。さらに、艦全体にわたって配置された5インチ38口径両用砲、ボフォース40ミリ機銃、エリコン20ミリ機銃は、格段に優秀なレーダー機器とVTヒューズと相まって、日本機の近接を容易に許さず、日本の攻撃隊は多大の犠牲を出すことになった。

大型の飛行甲板と共に、その搭載機数も大巾に増やされ、一部露天繋留の建前をとったためもあってか、搭載機数約100機とほぼ同大の日本空母翔鶴級の72機に比べてはるかに多い。この数はより大型の空母レキシントン級（33,000トン、ただし格納庫は閉鎖型）の90機をも上回るものである。これに加え飛行甲板前端に2基のH－4 I油圧力タパルトを備え本級の航空機運用能力は前例を見ない強力なものになっている。

主機にはバブコック&ウイルコックスのボイラー8基とウェスチングハウスのタービン4基を持ち、総出力15万馬力、最大速力33ノット以上という性能を持つ。

エセックス級は前記の1940年度発注艦11隻に加え、41年度には2隻、42年度10隻、43年度3隻、44年度6隻の計32隻が計画されたが戦局の好転にともなって、45年3月に6隻が、また8月に2隻がキャンセルされ、結局24隻が完成、このうち終戦までに完成したものは17隻である。24隻中、ボン・ノム・リチャードCV－31を除く、1943年以降起工の艦は艦首にボフォース40ミリ4連装機銃を1基増設して2基としたため、この設置面積を取る必要から艦首が約3.7メートル延長されている。このため、長い船体を持つ方を長船体型、これに対して元の短い船体の方を短船体型と呼んで区別している。したがってエセックスは短船体型である。

太平洋戦争が始まったとき、一番艦エセックスは米東海岸ニューヨークの近郊ニューポート・ニューズ社の造船台上にあった。開戦の報とともに、ずか20カ月という、この種の大型艦としてほ記録的な短期間で1942年12月31日竣工した。そしてただちに慣熟訓練が始まり、パナマ運河をとおって真珠湾にその勇姿を現わしたのが翌43年6月であった。そのころ米海軍は、サンゴ海でレキシントンを、ミッドウェーでヨークタウンを、ガダルカナルでワスプCV－7を、そして南太平洋でホーネットCV－8を失って、太平洋区域で作戦可能空母は、わずかにエンタープライズCV－6と満身創痍のサラトガの2隻という、まさにジリ貧状態にあったのである。このため、エセックスの真珠湾入りは、「米国復活のシンボル」として米海軍将兵に受けとられたという。

本級の初陣は43年8月31日の、エセックスと、先代の名を受け継いだ新鋭エセックス級の二番艦ヨークタウンCV－10、および軽空母インディペンデンスCV－22を主力とする第15機動部隊のマーカス島（南鳥島）攻撃である。この日はまた同時に、新鋭グラマンF6Fヘルキャット艦上戦闘機の初陣の日でもあった。以後エセックス級とヘルキャットとの組合せは、終戦まで続き、太平洋戦争における米海軍反攻の主力として君臨した。エセックスは太平洋戦争中、発着事故や味方による誤砲撃を含めて、4回の損傷を受けている。その内45年4月11日沖縄で日本軍の急降下爆撃を受けた時は、燃料系統をやられたために、相当広範囲に被害がおよんだが消火に成功、沈没をまぬがれている。1947年1月、本艦は1度モス・ボールされたが、朝鮮動乱に伴って1951年1月再び現役に復帰、このときSCB－27Aと呼ばれる近代化改造が行われ、さらに1956年にSCB－125A改造が行われて、エンクローズド・バウ、アングルド・デッキ、艦橋構造物と全く原型をとどめないほどに変化している。艦種別も1959年にCVA－9（攻撃航空母艦）、61年にCVS－9（対潜航空母艦）と変わり、同時にFRAMII近代化改造が行われた。1969年6月30日再度予備役に編入されるまで、長く米海軍空母戦力の中心をなし、空母史上に輝ける金字塔を打ちたてた空母である。

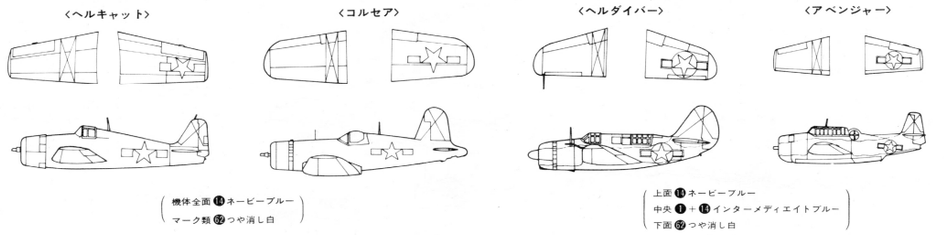
《空母エセックス主要データー》

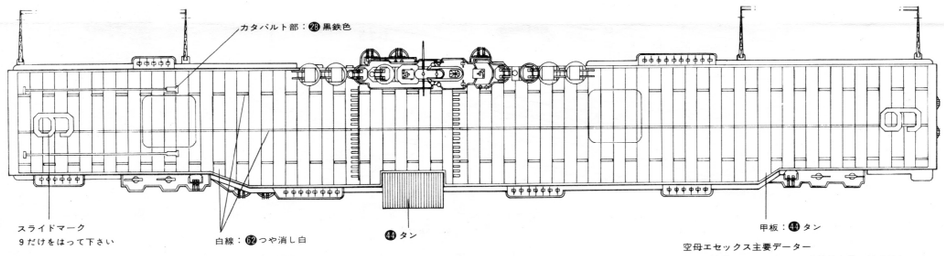
基準排水量：27,100トン　満載排水量：33,000トン
全長：265.77メートル　最大巾：28.35メートル
速力：33.0ノット　軸馬力：150,000馬力
飛行機搭載数：80機以上　カタパルト：2基

PAINTING

《空母エセックスの塗装について》

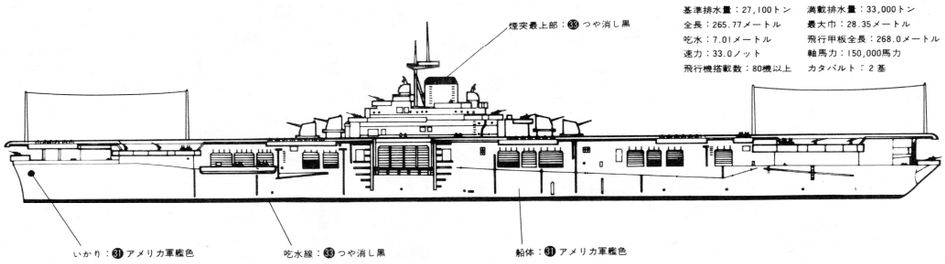
一般にアメリカの艦艇は、旧日本海軍の艦艇に比べて明るく塗装されていました。吃水線より上の船体および上部構造物は、少し青味がかった明るいグレーに塗られていました。飛行甲板は、進行方向に直角の方向に張られた木製の甲板ですので、㊹タンがよいでしょう。カタパルトの部分は黒鉄色、甲板上の白線は、修理などでだんだん消えてしまったようです。甲板の下面は、船体と同色のグレーが塗られていたようです。煙突は、最頂部の部分が黒く塗られていました。カッターや内火艇はキャンバスがかけられていたため、上面はつや消しの白、艇体は船体と同色のグレー又は若干濃いグレーが塗られていました。なお、吃水線にそって黒のラインが船体の全長にわたって入れられていましたが、この線は、よごれや改修で比較的不明瞭です。吃水線下の船体は、艦底色と言われる暗い赤で塗装されていました。エセックス級の各空母は、大戦後半に二色又は三色の雲型パターンの迷彩色をほどこしていました。色は濃いグレー、船体色、うすいグレーの三色と思われます。





空母エセックス主要データー

基準排水量：27,100トン	満載排水量：33,000トン
全長：265.77メートル	最大巾：28.35メートル
吃水：7.01メートル	飛行甲板全長：268.0メートル
速力：33.0ノット	軸馬力：150,000馬力
飛行機搭載数：80機以上	カタパルト：2基



㈱長谷川製作所 静岡県焼津市八楠1193の2 〒425

ESSEX エセックス

切り抜いてネームプレートに使用します。

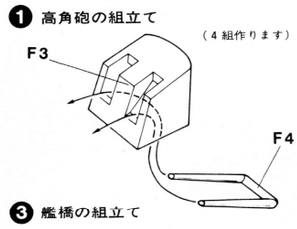
《作る前にお読みください》
★ランナー(枝)から部品を切りはなす場合、必ずニッパーかナイフ等を使って、ていねいに切りはなして下さい。★接着剤は組立てる部品の両方に少しづつ付けて接着して下さい。

家庭用品品質表示法による接着剤品質表示
取扱い上の注意 1. 幼児の手の届かないところに保管し、いたずらをしない様注意して下さい
2. 火気に注意し換気をよくして下さい
3. 故意に吸わない様注意して下さい
表示者 SZ 3000 SZ 3006 SZ 5013

部品を取出した空袋は、幼児が被ったりしないように破りすてて下さい。

❶ 高角砲の組立て

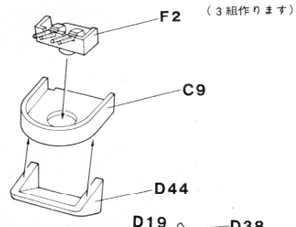
(4組作ります)



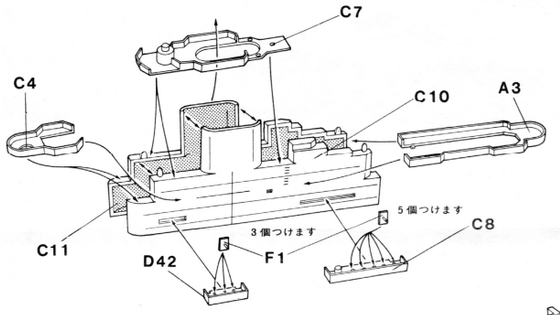
❷ 4連装機銃の組立て

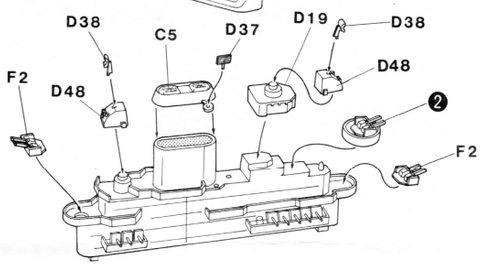
(2組作ります)

(3組作ります)

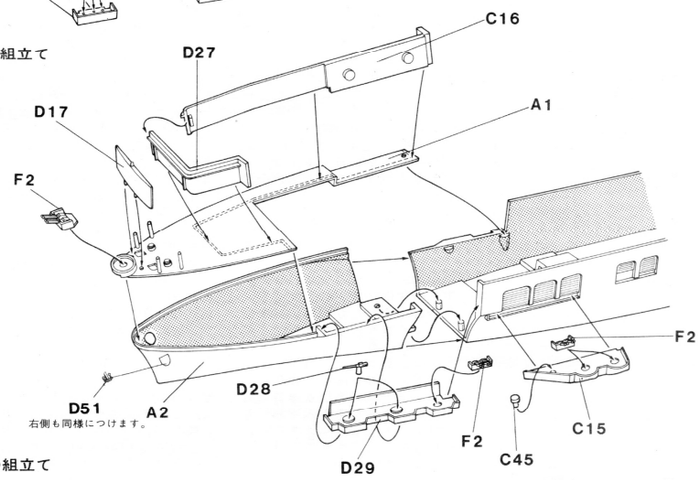


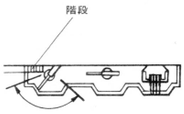
❸ 艦橋の組立て





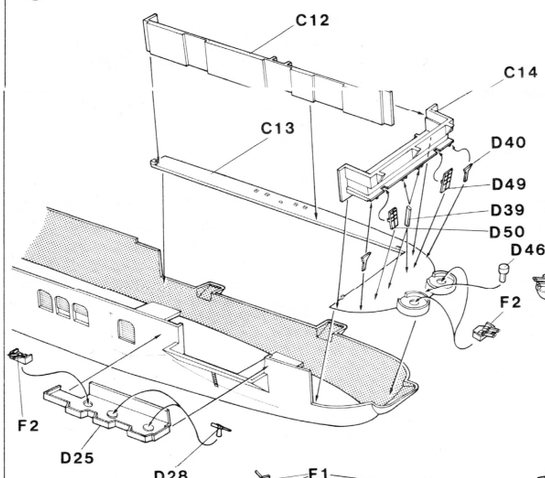
❹ 艦首甲板の組立て

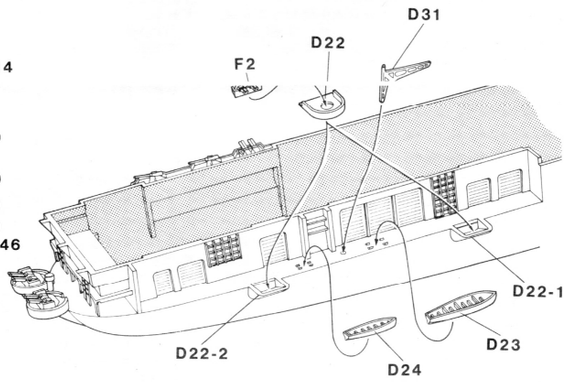




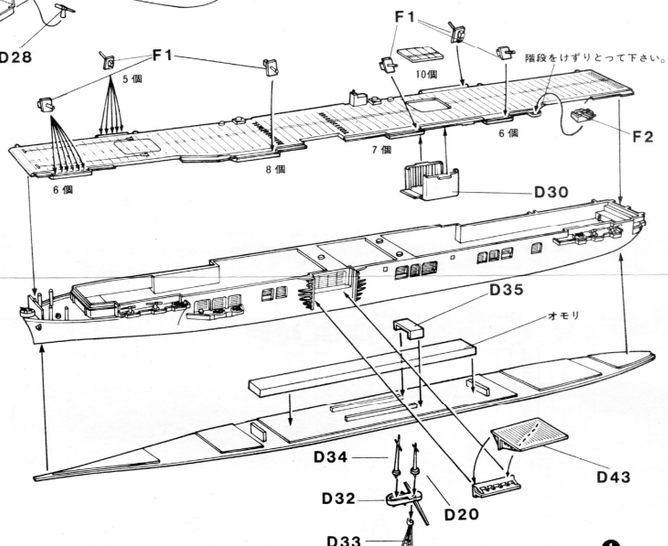
★単装砲を進行方向と平行につけますと階段にあたってしまいますので図の角度で取付けて下さい。

❺ 艦尾甲板の組立て





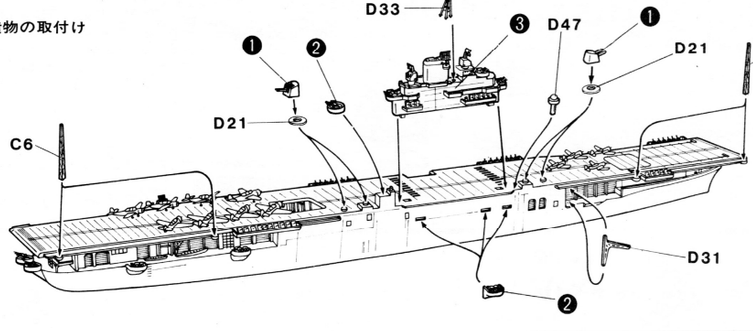
❻ 船体の組立て



★後部四連装対空機銃はD22－1を前へD22－2を後へつけて下さい。単装機銃は指定の数だけつけて下さい。

★サイドエレベーターを降ろした状態で作る時は点線の位置で切りはなして下さい。

❼ 上部構造物の取付け



★アンテナマスト
C6は離・着艦の時は横に、通常航行の時は立っています。どちらか好みの状態で組立てて下さい。

PRINTED IN JAPAN